

JISA ソフトウェアイノベーションシンポジウム 2021 ～ポストコロナ時代の新開発スタイル～ 開催

令和3年12月21日(火)、技術委員会(委員長:佐々木裕 株式会社 NTT データ 取締役常務執行役員)主催のシンポジウムが、会員企業エンジニアを中心に215名の申し込みがありオンラインにて開催された。

基調講演では、慶應義塾大学総合政策学部教授 國領二郎氏より「誰一人として取り残さない、人に優しいデジタル化」、また、株式会社大林組 ビジネスイノベーション推進室副部長 杉浦伸哉氏より「重機が自動で走り省人化される次世代土木工事の世界」の講演があった。

経験報告セッションでは、本年度はポストコロナ時代の新しい開発スタイルとして「リモート」「アジリティ」「ダイバーシティ」等の観点で実践、検討している事例を積極的に募集し、7件の発表があった。株式会社デンソー クリエイト 興津綾弓氏「仕様工程でのモデル導入を狙ったポチポチモデルの提案と評価」がベストプラクティス賞、株式会社 NTT データ 高岸大路氏「これからの SAFe 導入」が奨励賞を受賞した。

ワークショップセッションは、JISA デジタル技術部会要求工学グループが企画し、REBOK (DX 編) に提示している新たな価値創造やビジネスモデル構築に関するプラクティスの体験ワークショップをリモートで行った。

本イベントの各講演動画は1月14日(金)までアーカイブ配信を行う。また、講演録に関しては JISA 会報 4 月号に掲載予定である。

(辻村)